

令和4年度「ひとり1改革運動」11月推進月間改革賞の紹介

信頼される組織づくり～コンプライアンスの機運醸成を～

会計年度任用職員の休暇を一元管理

東部健康福祉センター 総務課 総務班

約50人の会計年度任用職員の休暇を一元的に管理できる自動計算シートを作成

- * 多様な勤務体系や休暇の取得形態に関わらず、残日数をミスなく自動計算
- * 基準日における残日数をすぐに確認でき、チェックリストとの照合で更に正確性アップ

No.	所属課	職員番号	職員氏名	当初採用	年次有給休暇 取得 (取得者必須入力)										基準日時年次有給休暇 残				
					日単位		午前休		午後休		時間	残時間	使用	差引	残日数・残時間				
					一日	取得	午前	取得	午後	取得	取得	取得	時間		時間	時間	時間	確認日	残日数
					(h)	(日)	(h)	(回)	(h)	(回)	(h)	(回)	(h)	(h)	(h)	(h)		(日)	(時)
	△△課	7891011	富士花子	R3.9.1	5.8	7	3	2	3	2	15	0	67.6	36.3	R4.10.31	6	1.45		

入力欄
自動計算欄



デジタル化による効果については、効率化やコスト削減が目がいきがちです。しかしながら、デジタル化は「ミスの削減」という大きな効果も生み出すことができます。本事例は、複雑というもっともミスが起きやすいことに対してうまくデジタル化を活用した好事例だと思えます。

大阪経済大学 酒井 大策 准教授

“あれ”と思った時には倫理会議

精神保健福祉センター 精神保健福祉班

“あれ”と思った事案について、倫理会議で組織としての解決の糸口を見出す

- * 倫理会議で「組織のありたい姿」を共有して、班組織としての対応方針を決定
- * 班員から報告や疑義の声が挙がるようになり、個人と組織レベルでリスク管理能力が向上
- * 「日本看護倫理学会第16回年次大会」(R5.6月開催)に採択され、取組を発表予定

実際の議題

- ・ 相談で知り得た情報をどう取り扱い、外部に提供するか?
- ・ 個人データの持出し・管理・報告はどうか?
- ・ インシデントレポートの作成
- ・ 続く“コロナ禍”での業務トリアージの必要性和事務分掌の調整 等



本件は、他職種による専門職が一つのチームとして組織力を高めるために、単に事例の共有や協議ではなく、「倫理」を基盤とした視点や、互いの専門性や経験の違いを知る工夫が非常に高く評価されます。組織力の強化に加え、個々のスキルアップの機会にもつながり、他部署への普及も期待されます。

静岡県立大学 木村 綾 講師